

少数台数のリコール届出の公表について（令和7年9月分）

リコール対象が少数である100台未満の届出について、令和7年9月は9件の届出がありましたので公表します。

1. 三菱ふそうトラック・バス株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	製作期間
9月2日	5713	車名：三菱 型式：2RG-FEB50 他 通称名：ふそうキャンター	9台	令和7年 1月27日 ～ 令和7年 5月 7日
不具合の部位等				
エンジンのコモンレールとインジェクター間の高圧燃料パイプにおいて、インジェクター側取付ナットの締付方法が不適切なため、当該ナットの締付トルクが不足しているものがある。そのため、エンジン振動によって当該ナットが緩み、燃料が漏れるおそれがある。				

2. 本田技研工業株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	製作期間
9月4日	5715	車名：ホンダ 型式：6BA-JH3 通称名：N-WGN	1台	令和7年 5月13日
不具合の部位等				
無段変速機において、インプットシャフトの組付指示が不適切なため、当該シャフトにOリングが組み付けられていないものがある。そのため、高負荷走行時にフォワードクラッチの油圧が低下し、最悪の場合、クラッチが滑り警告灯が点滅してフェールセーフが働き、加速不良となるおそれがある。				

3. エム・エス・ケー農業機械株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	製作期間
9月4日	外4062	車名：フェント 型式：不明 通称名：F728VARIO G7	3台	令和5年 5月31日 ～ 令和6年 5月23日
不具合の部位等				
農耕トラクタのトレーラブレーキの圧縮空気ホースにおいて、設計検討が不十分なため、燃料タンクに干渉することがある。そのため、そのまま使用を続けると、圧縮空気ホースが摩耗し、損傷した場合にエアが漏れ、最悪の場合、トレーラの制動力が失われるおそれがある。				

4. エム・エス・ケー農業機械株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	製作期間
9月4日	外4063	車名：フェント 型式：不明 通称名：F1050VARIO S4	3台	平成29年11月27日 ～ 平成31年 1月17日
不具合の部位等				
農耕トラクタのオイルフィルターキャップにおいて、製造工程で材質の選定が不適切なため、取扱説明書に従ってエンジンオイルを交換しないと、オイルフィルターキャップが早期に劣化することがある。そのため、そのまま使用を続けると、オイルが漏れ、エンジンの潤滑が不足し、最悪の場合、エンジンが停止するおそれがある。				

5. エム・エス・ケー農業機械株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	製作期間
9月4日	外4064	車名：フェント 型式：不明 通称名：F936VARIO G6 他	27台	令和2年10月20日 ～ 令和6年 7月25日
不具合の部位等				
農耕トラクタの原動機において、エンジンコントローラーのソフトウェアの設定が不適切なため、排気温度が過度に上昇することがある。そのため、そのまま使用を続けると、最悪の場合、原動機が損傷するおそれがある。				

6. ASF 株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	輸入期間
9月8日	外4069	車名：柳州五菱 型式：不明 通称名：—	70台	令和6年 7月 3日 ～ 令和7年 1月 8日
不具合の部位等				
ブレーキフルードリザーバータンクとブレーキマスターシリンダー間に装着されているブレーキホースについて、製造指示が不適切なため、異品が組み付けられ、使用過程において当該ブレーキホース内のブレーキフルードと化学反応を起こすことがある。さらに、化学反応により溶出したブレーキフルードがブレーキマスターシリンダー内のカップと化学反応を起こし、カップが劣化することがある。そのため、低速でブレーキを踏み続けると、ブレーキマスターシリンダーの液圧が低下し、制動力が低下するおそれがある。				

7. NX商事株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	製作期間
9月24日	5710	車名：日通 他 型式：NT28F005 他 通称名：—	52台	平成18年 3月22日 ～ 令和 5年 9月 1日
不具合の部位等				
セミトレーラの車幅灯において、設計検討が不十分なため、当該灯火の幾何学的視認性が保安基準に適合しない。				

8. Ferrari Japan 株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	製作期間
9月29日	外4073	車名：フェラーリ 型式：7BA-F167 通称名：12Cilindri	61台	令和6年 6月25日 ～ 令和7年 4月12日
不具合の部位等				
エアバッグ ECU の事故情報記録装置のソフトウェアにおいて、設計検討が不十分なため、ステアリング補正機能のデータが記録されないことがある。そのため、事故後に衝突データを取得した際に、レポートにステアリング補正機能のデータが表示されず、保安基準に適合しない。なお、エアバッグの作動や衝突検知機能への影響はない。				

9. Aston Martin Japan 合同会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	輸入期間
9月30日	外4078	車名：アストンマーティン 型式：不明 通称名：Vanquish	29台	令和7年 2月18日 ～ 令和7年 6月19日
不具合の部位等				
ESP（エレクトロニックスタビリティプログラム）モジュールの制御プログラムにおいて、設計検討が不十分なため、エンジン始動時に不必要な DTC（故障コード）が誤検出されてブレーキ警告灯が点灯し、真空ポンプが作動しなくなることがある。そのため、ブレーキブースターを負圧にできず通常時よりもペダルの踏力が必要となり、運転者の予測より制動距離が長くなるおそれがある。				

【参考】

●令和7年9月のリコール届出件数

全体（件）		内 訳（件）	
		対象台数 100 台以上	対象台数 100 台未満
国産車	1 2（+ 2）	9（－ 1）	3（+ 3）
輸入車	1 4（－ 1）	8（－ 3）	6（+ 2）
計	2 6（+ 1）	1 7（－ 4）	9（+ 5）

※ （ ）内は、対前年度同月比

●令和7年度のリコール総届出件数及び総対象台数

<速報値>

月	届出件数（件）			対 象 台 数（台）		
	国産車	輸入車	合 計	国産車	輸入車	合 計
4	9(+3)	21(+12)	30(+15)	142, 771(+3, 851)	39, 331(+30, 347)	182, 102(+34, 198)
5	16(+4)	18(+2)	34(+6)	140, 390(－220, 251)	23, 504(－138, 131)	163, 894(－358, 382)
6	22(+4)	28(+11)	50(+15)	142, 323(－237, 965)	38, 349(－897)	180, 672(－238, 862)
7	22(－2)	15(+1)	37(－1)	700, 376(+387, 097)	25, 977(－67, 593)	726, 353(+319, 504)
8	5(+3)	11(－1)	16(+2)	31, 775(+30, 052)	12, 901(－29, 081)	44, 676(+971)
9	12(+2)	14(－1)	26(+1)	139, 450(－1, 614, 322)	18, 113(－3, 382)	157, 563(－1, 617, 704)
小計	86(+14)	107(+24)	193(+38)	1, 297, 085(－1, 651, 538)	158, 175(－208, 737)	1, 455, 260(－1, 860, 275)

※ （ ）内は、対前年度同月比

（問い合わせ先）

国土交通省物流・自動車局審査・リコール課 リコール監理室 久米・藤坂 電話 03-5253-8111（代表）（内線 42353）
--